

佐賀県佐賀市

【活動概要・効果】

☆アジア最大規模のバルーンイベントによる地域活性化

○アジア最大規模の熱気球大会である佐賀インターナショナルバルーンフェスタを開催し、この大会にあわせて各種イベントを行い、会場と市街地を交流させる取り組みを行い、市街地の賑わいを図っている。

☆昭和59年にアジアで初のバルーンの国際大会としてスタートした「バルーンフェスタ」は、熱気球の世界選手権を開催するなど徐々に規模も拡大し、参加機数100機以上、観客動員数87万人以上の一大イベントとして定着している。イベントは民間団体の佐賀バルーンフェスタ組織委員会が主導となり、行政と協力しながら開催し、競技団体、地域住民、行政が一丸となってイベントを行っている。

☆シンボルロードのイルミネーションイベントや地域特産品の宣伝、周辺地域への経済活性化など、バルーンフェスタを中心として、多くのイベントを開催し、地域活性化をさらに促進している。



バルーンフェスタ オープニングパレード

《人員確保での工夫・苦労》

バルーンフェスタの運営は、期間中のべ2千人を超えるボランティアに支えられており、毎年リピーターとして参加される方のほか、ボランティアの団体や企業、大学、短大、専門学校などへの呼びかけにより、たくさんの方のご協力をいただいています。

バルーンフェスタ・サテライトなどのイベントについては、街づくり組織「TMO佐賀」を中心に周辺商店街、地元百貨店等との協力や各種団体と連携しながら、市街地活性化のために取り組んでいます。

《活動資金確保での工夫・苦労》

バルーン会場は河川敷を借用していることから、施設の設置解体などに多くの経費がかかるため、会場内で「環境整備協力金」「運営協力金」という名目で寄付金を集めるほか、協賛企業の募集などにより、自主財源の確保に努めています。また、バルーンフェスタ・サテライトについても、ほとんどを市の補助金で運営しているのが現状であり、今後、協賛企業を増やすことや関係者への負担を求める検討が必要と考えています。

サガ・ライトファンタジーは経費の大部分に市の補助金を充当していますが、一部の地元企業から協賛金いただき、リーフレットや横断幕に社名の掲載等を行っています。最終日恒例イベントとして、それらの企業からの協賛品を賞品とした抽選会を開催しており、たいへん好評を得ています。

【現場の声】

バルーンフェスタ期間中は、毎年80万人以上の来場者があり、駐車場の確保や渋滞などの交通対策、交通規制への地元協力は大きな課題です。平成元年からJR九州の協力により会場内に臨時駅を設置し、平成15年には駅の恒久化工事を行い、観客の輸送に大きな力を発揮しています。また、学校や民間企業の協力を得て市内各所に臨時駐車場を確保し、会場へのシャトルバスを運行するなど交通渋滞の緩和に努めるほか、地元住民の協力により周辺地域の交通規制を実施しています。交通対策はまだまだ改善の必要がありますが、今後も地元や企業、関係官庁などと協力しながら改善に努めていきたいと考えています。

～佐賀市役所観光・文化課バルーン係



バルーンフェスタ サテライト会場（骨董市）